

第78回 フリートークの会 2012年9月11日 出席者10名

Aさん 私は乳がんを発病して25年、再発して18年、でも元気です。すごく元気になりました。以上です。(笑)

Bさん 私も乳がんなんですけど、6年経ちます。今、骨転移しています。7月にAさんにお会いして、元気をもらっています(笑)。フリートークの会は2回目です。ホルモン療法をやって、今はゾメタの点滴を月1回やっています。

Cさん 私は2004年に発病しまして、右乳房を全摘しました。2008年に首のリンパに再発しましたが、放射線治療で腫瘍は消えて、今は元気になりました。

Dさん 私は手術後2年になります。今は薬も何も飲んでいなくて、不安なんですけど様子を見ているだけという状況です。

Eさん 今日初めてこちらの会に参加させていただきます。今年の4月に左乳房を手術しまして、7月いっぱい放射線治療をしていて、8月からホルモン療法をやっています。副作用なのか眠くて…副作用が強く出ています。でも頑張ってウォーキングを毎日やっています。夜涼しい時に、免疫力を上げるためにもいいかなと思って…。

Fさん 術後3年半になります。アリミデックスを飲んでます。更年期のせい薬の副作用か汗がすごくて、あと、体が痒いんですね。

Gさん 乳がんの術後8年になります。なかなか吹っ切れないものがあるんですね、乳がんって。先ほどEさんが夜ウォーキングをされているっておっしゃってましたけど、私も毎日1時間朝のウォーキングをやってます。朝も気持ちよくていいですよ～。

Hさん 今年の5月に乳がんの全摘手術を受けました。私もウォーキングをしています。

Iさん 今年の2月に子宮体がんと卵巣がんの手術をしました。この7月で一応治療は一段落しています。

Jさん 私も今日フリートークの会初めての参加です。卵巣がんの手術をこの7月にしまして、こちらの菊池がんクリニックに術後の治療をお世話になっております。手術は、こちらの菊池先生の教え子の先生がいらっしゃる病院でしていただきました。

Iさん 卵巣がんで何か自覚症状がありましたか？

Jさん おなかがポッコリ膨らみましたね。腹水がたまっていましたね。おしっこが近かったんです。今

思えばあれが前兆だったんですね。平成 22 年の春ごろの検査では腫瘍マーカーは以上なかったんです。この 2 年くらいで発病したんですね。

I さん 出血はなかったんですか？

J さん 出血はなかったです。

E さん 皆さん、食事なんかには気を遣ってらっしゃいますか？

B さん 私はあまり気にしないで、食べたいものを食べています。我慢するのもストレスになってよくないし。

E さん 私は治療を始めてから、薬のせいもあるのか乳製品が食べられなくなっちゃったんですね。和食を中心にして食べ過ぎないようにしています。

F さん 手術後 1 年は節制しました。でもあれこれやって最終的に分かったことは、一番いけないのはストレスだっていうこと。食べちゃいけないと思うことがストレスになる。

G さん 先生、新聞か何かで読んだんですけど、メトホルミンという糖尿病Ⅱ型の治療薬が乳がんの再発防止に効くってというのは本当ですか？  
アリミデックスと一緒に飲んでも大丈夫でしょうか？ 副作用の心配とかは？

院長 メトホルミンですね。その薬はがんの幹細胞の増殖を抑える薬です。アリミデックスは関係ありません。血糖値を下げすぎないから糖尿病でない人が飲んでも大丈夫ですよ。

B さん 私は今これ(メトホルミン)を飲んでます。主治医ががんの再発防止になるからって処方してくれたもので、私、あちこちに骨転移してるんですね。で、この薬のせいばかりではないかもしれないけど、腕の骨転移はなくなったんですね。私は骨転移しやすいので、ゾメタの点滴を 6 年間やってきました。あとストロンチウムっていう放射能の注射もやっていて、核医学っていうんですけどね、放射能を、ほんの少しですよ、ほんの数ミリ注射して、そうするとすぐによくなるわけではないけど、転移したところにジンワリ効いてくるんだそうです。高いですけどね。骨転移があると骨のカルシウムが溶けるから、尿検査で骨転移の具合が分かるんです。カルシウムの尿中の量で治療の効果が判断できるんだそうです。

G さん 先生、質問なんですけど、術前化学療法ってありますでしょうか？あれって意味があるんですか？  
悪いところがあるんならすぐ手術した方がいいと思うんですけど、わざわざ手術前に抗がん剤の治療をするのは意味があるんですか？

院長 がんの拡がり具合によるんですね。大きく広がっている場合は手術しても取りきれないから。

そういう場合はまず化学療法をやってがんを小さくしてから手術、ということですね。

卵巣がんの種類は 4 種類くらいあるんです。卵巣は腹腔内に浮いているから腹膜にがんが広がったり水がたまるんです。

漿液性腺がん、明細胞腺がんは化学療法が効かない。ただすぐには大きくならないのでⅡ期で見つかることが多いんです。粘液性腺がんは相当大きくなっても拡がらない。Jさんの卵巣がんはこれだったのできれいに取れました。

子宮体がん、卵巣がんは骨にめったに転移することがない。乳がんは骨と肺に、Her2 陽性の方は脳転移しやすい。でも、ハーセプチンとラパチニブ両方使うと脳転移しない。アメリカは始めからこの 2 つを使うんです。日本は脳転移してからラパチニブを使いなさいという。なんにしても遅い。